

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 義肢装具学専攻

名 前 栗山明彦

作成日 2023年9月29日

### 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

過去；義肢装具学概論（必修、1年）、義肢装具基本工作論（必修、1年）、大腿義足（必修、3年）、大腿義足実習（必修、3年）等

現在；義肢装具製作技術入門（必修、1年）、義足学Ⅱ（大腿義足）（必修、3年）、股義足学（選択、4年）等

教育活動；義肢装具学専攻教育顧問、東京健康科学大学ベトナム副学長等

責務；「人間の総合的理解」、「心身関連の理解」を基盤に、義肢装具学の基礎的な知識と実践応用能力を修得させ、義肢装具士に必要となる資質と能力を身につけることで、社会へ貢献できる人材を養成する

### 2. 理念（教育に対する考え方）

義肢装具は様々な疾患や障害を持った方々に対し、機能の補てんや補助を行うための福祉用具であり、これら義肢装具を製作するのが義肢装具士である。義肢装具士は医療職ではありながら、ものづくりという技術職の部分もある大変やりがいのある職種であり、そのため本専攻においては机上での勉強だけでなく、専門科目での実習・演習に重点を置き、実際に製作を通して役立つ義肢装具を製作するための養成教育を行っている。

### 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

義肢装具学専攻のディプロマ・ポリシーにもあるように、義肢装具を必要とする方々に対し、彼らの尊厳を遵守し、高い倫理観をもって接することが何よりも大切である。そのためには、特に専門科目でのモデル被験者さんに対し、これらについて十分理解していただき、コミュニケーション能力を高めるよう実習を進めていくことを心掛けている。これらを通してより実践的な教育を行うことで、学生が社会へ出たときにも即戦力を発揮し十分な活躍ができるよう教育を行っている。

### 4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

学生にとって授業の内容は、講義などで難しい点が多々あり、学生からはよく分からない、理解できない点があるという声が聞かれる。授業に対しては、できるだけかみ砕いて、実技など実演を交えながら質問をたくさん受け、学生の表情をみながら進行していく。したがって分からないことは、そのままにせずいつでもどこでも私を捕まえて質問してもらおう。

### 5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

専門科目における講義の中にはいくつかのプロジェクトで形成されている。一つの科目でのプロジェクトは3~4個ほど行っているが、それぞれのプロジェクトを短期的目標と考えると、一通りの作業を行うことが要求される。その中で、工具や機器の取り扱いや計測方法など用いて義肢装具を製作するうえで、それらの安全な使用方法や適切な取り扱いなどを含めて、義肢や装具の一貫した製作方法を学ぶことが必要である。中期的目標としては、それぞれのプロジェクトでの製作方法などから、装具全般、義肢全般の相互関係がどのように共通しているか、または独立しているか、理解することが重要である。これらを理解することで、製作方法の効率化を図ることができ、材料の無駄使いや工具、機器の取り扱いの安全性を理解することができる。

**【添付資料】**

- ・ 講義用シラバス
- ・ 授業用資料
- ・ 学生アンケート 等